

いなづま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 有限会社畠山印刷



北海道電気工事業 工業組合通常総代会 開催さる

北海道電気工事業工業組合の平成七年度通常総代会が、去る二月二十四日午後二時から札幌市の北海道厚生金会館で開催され、三副理事長のほか理事等十一名が出席した。

総代会次第

一、開会

二、議長選出

三、議事

第一号議案 平成六年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の承認について

第二号議案 平成七年度事業計画及び收支予算案の承認について

第三号議案 平成七年度賦課金並びにその徴収方法について

第四号議案 役員（理事及び監事）全員の任期満了による改選について

第五号議案 役員報酬について

第六号議案 本日の決議中、その本旨に及せざる句の訂正を議長に一任の件

一、開会

なお、第四号議案では当組合の吉田副理事長が理事に再任、佐藤副理事長が監事に新任された。

又、総代会開催にさきがけ永年にわたり組合役員として上戸理事、組合員の部で吉岡成彰氏（㈲吉岡電気工業所）職員の部で坂本事務局長がそれぞれ功績が認められ表彰された。

組合行事

30日	副理事長会議	
27日	平成六年度永年勤続者表彰式・新年会（於 ホテル函館ロイヤル）	
24日	商工中金函館支店商工懇話会総会・新年懇親会に坂本事務局長出席（於北海道電気会館）	
23日	東支部会議兼新年会（新葉亭竹葉）	
24日	道工業組合役員会に吉田副理事長出席	
23日	道工業組合役員会に吉田副理事長出席	
2019年1月6日	自衛隊退職者雇用協議会新年懇親会に坂本事務局長出席（ホテル柏木ロイヤル）	
19日	第八回北工連絡会	
14日	副理事長会議	
13日	年末特別融資委員会	
12日	函館地区団体事務長会役員会に坂本事務局長出席	
29日	平成六年度年末特別融資委員会	長出席
24日	東支部会議	理事長出席
25日	北支部会議	
全日	函館地区団体事務長会役員会に坂本事務局	
12月2日	青年部役員会	
12月2日	副理事長会議	
12月2日	青年部役員会	

組合員の消息

一、一月上旬 (株)ホーム電業社代表取締役土谷敏一 殿病氣入院（二月下旬退院）

一、二月上旬 ツボ電設工業代表坪光雄殿病氣入院（三月上旬退院）

一、二月二四日 平野電氣工業所代表平野金之 助殿ご逝去

一、一二月二十五日 (有)里見電氣工事代表取締役矢本里美殿ご母堂矢本ヨシエ殿 ご逝去

一、一二月三〇日 (株)菅原電氣商會代表取締役菅原憲造殿ご尊父菅原光信殿 ご逝去

一、一月一九日 (株)ケイソーリ代表取締役佐藤襄殿ご岳父鈴木健行殿ご逝去

一、二月 六日 理事長大倉伸夫殿ご逝去

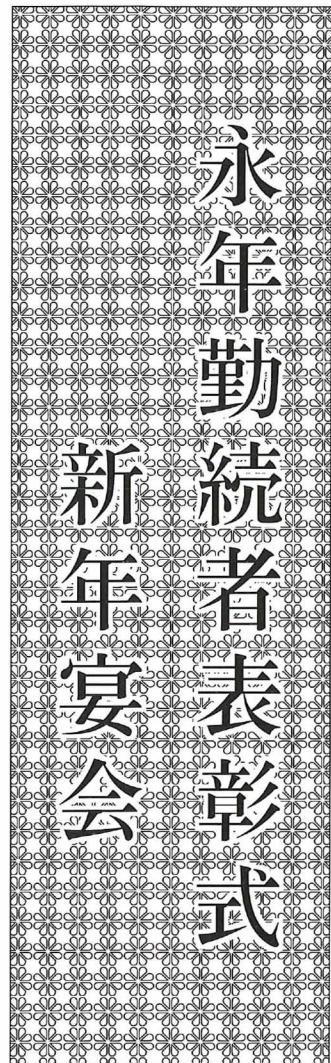
一、二月 八日 小林電氣商會代表小林金蔵殿 ご令室小林マリ子殿ご逝去

一、二月一日 奈良電氣商會代表奈良正明殿 ご尊父奈良正茂殿ご逝去

一、三月 六日 (有)森電設代表取締役森欣哉殿 ご令室森つる子殿ご逝去

永年勤続者表彰式

新年宴會



平成六年度永年勤続者表彰式ならびに平成七年新年会が、一月二十七日ホテル函館ロイヤルにおいて開催され、佐藤孝行氏、鉢呂吉雄氏、金田誠一氏の三衆議院議員をはじめ函館市安井悟助役ほか三十一名の来賓を迎へ、被表彰者・組合員・事務局職員をあわせ約四十名余が出席した。

定刻の午後五時三十分、坂本事務局長の司会により昨年六月ご逝去された(株)北弘電社相談役故泉茂雄殿はか関係物故者並びにこのたびの阪神大震災によりご逝去された方々のご冥福を祈つて黙禱を捧げた。

冒頭、入院加療中の大倉理事長(二月六日ご逝去)に代わって挨拶に立った吉田副理事長は、「本日、栄えある永年勤続表彰を受けられる十五名の皆様は、十年二十年、三十年の風雪を嘗々と刻苦精励、所属事業所の発展、強いては当組合と地域社会に貢献してこられた。その功績は極めて大きく、この機会に深甚なる敬意と感謝を表したい」とねぎらつた後、景気について触れ「民間企業の設備投資が不調」と業界は依然として厳しい状況であるとし、「組合員各社は経営安定のため、各種技能講習で技能者の確保、時短の推進などに自助努力をしながら力を合わせ頑張ろう」と呼び掛けた。

永年勤続者表彰式では、吉田副理事長が受賞者一人ひとりに感謝状と記念品を手渡し、出席者一同盛大な拍手で祝福した。

続く来賓祝辞では、佐藤、鉢呂、金田各代議士、安

井函館市助役、伊藤三雄北海道電力(株)函館支店長が相次いで登壇、心あたたまるお祝いのことばを述べ、受賞者を代表して三十年表彰を受けた(株)松山電気工業の上戸勉さんが「初心に帰り、一層努力をしていきます」と謝辞を述べた。

このあと、佐藤副理事長の音頭で祝杯をあげて懇親会に入った。司会者から「毎年来賓には心ばかりの手土産を用意していたが、今回はこれを中止して阪神大震災と謝辞を述べた。

震災の義援金として寄付したい」と述べたところ、会場から拍手によって了解された。(後日日本赤十字社へ寄付)
途中、カラオケを交え一時間半にわたる歓談を交わし、八時二十分北海道電気資材卸業協同組合の新出昌弘函館支部長の発声でめでたく閉会となつた。

平成六年度永年勤続者表彰名簿(敬称略)

勤続30年以上2名	事業所名	氏名
勤続25年以上4名	事業所名	氏名
勤続20年以上1名	(株)松山電気工業(株)	伊藤儀信
勤続15年以下4名	(株)松山電気工業(株)	伊藤信広
勤続10年以上4名	共栄電気工業(株)	上戸勉
	タマツ電機工業(株)	堤洋一
	佐々木電気商会	戸内治
	大原電気工業(株)	長崎悦朗
	永井笠巻孝之	藤川治
	明雄	藤川仁
	桜庭	吉川直光
	佐藤	藤川幸雄
	明雄	藤川直光
	富岡	藤川幸雄
	電気	藤川直光
	工業	藤川幸雄
	事業	藤川直光
	(株)	藤川直光
	日興電気	藤川直光
	タマツ電機工業(株)	藤川直光
	樺	藤川直光
	電	藤川直光
	工	藤川直光
	業	藤川直光
	(株)	藤川直光



中国文化のルーツ 日本文化のルーツ（十三）

平沼鉢子

精進料理

現在、日本の僧侶で日常『精進料理』以外のものは食さないという人は少ないのではないかと思う。寺院の賓館や宿院に泊ると必ずと言つていい程『精進料理』であるが、日常の修業僧達はどうであろうか。

『精進料理』の歴史は中国では古代から始まっている。『墨子・辞過』に『古之民未知為飲食 時素食而分處』とあって、『古之民』といふのは『いつごろのことか』という意であり、まだ農耕を知らない時代と解すべきであろう。その頃は飢えをしのぐものならば何でも食した。葷（生臭物）と素（精進物）の区別はしていなかった。『素食』といふのは火を使用することを知らなかつた古代人が、生のまま食するという時代を指している。

では、中国の飲食史上生臭物と精進物の区別をしたのは何時頃のことであったのか。それは人類が文明時代に入り、階級の対立がはつきりし、肉食者と素食者の対峙（むき合つて立つという意）がはつきりしてきたところになる。

『詩經・伐檀』の項に、精進食の伐檀の人が憤然として、狩りもしないで庭に獲物をたくさんぶらさげている様子を罵倒している詩がある。

『礼記・表記』には『斎戒して鬼神に事える』とあるから、まず沐浴・更衣・独處・戒酒・素食・儀礼の規定では『素食』は肉類を食べず、野菜・果物・

彼君子兮 不素餐兮
彼君子兮 不素食兮
彼君子兮 不素殯兮

ここに出てくる『素』は伝統的な解釈によれば『白』ということ。原義をさらに拡大すれば『白飯』ということである。『素餐』は『血食』（肉食）に対して言う言葉で、一素一餐とは一つは白、一つは赤と区別される。この詩の意味は『大人君子よ、お前たちは狩りもしないのに、精進物を食わずになぜ毎日肉を食しているのか』ということである。生臭物、精進物という概念はもう西周（前一一〇一前七七一）のころにはあつたと考えられる。しかし、当時の『素餐』『素食』は、後世の調理で言う『素饌』（精進料理）、『素菜』の概念とは違つてゐる。

当時の『素食』する者というのは奴隸のことであるが、中国の精進料理は古代の奴隸の粗末な飲食に起源があるとは言えない。奴隸の素食は粗末で食用肉によ

る肉食と異なると言つても、生臭物でない精進料理ではない。本当の精進料理は、狩をしない肉食者が鬼神を祭るときの斎戒の飲食に始まつたであろうと思われる。

うな話がある。

——安漢公・王莽は水害や旱魃があるたびに、肉食を断つて素食をとつた。王太后は『公は菜食をしてゐるそうですが、深く民衆のことを憂えているのですね。』と慰め、つづいて『肉食をして國

白い飯のみを食べることである。

孔子は『論語』の中で『斎必变食』といつてゐる。

肉食者は斎戒にあたつては肉食を替えて斎食をとるというのである。先秦の人の言う『斎必变食』の意味するところは酒を飲まず生臭物を食べないという事である。それが正しい精進料理であったという事だ。精進料理は斎戒に始まり、中国では四一五千年の歴史を経ているだろう。西周から数えてほぼ三千年になる。そのころ中国にはまだ仏教寺院はなく、勿論印度に生まれた仏祖『お釈迦さま』も生まれていない。だから、現在吾々の言う精進料理とこの時代の精進料理とは、おのずから違うという事である。

角肉食をせず野菜を食べた事だけはたしかなようだ。

安漢公の食したものは、おそらく前漢時代の斎戒のときの食事と異なり、それなりに調理されたものと推察される。そうだとすれば宮廷の精進料理は、約二千年の歴史があることが考証できる。

精進料理は漢・魏を経て南北朝に至つて成熟に向つてている。

『齊民要術』に記載されている素食の献立、寺院の香積厨（調理室）に現れた精進料理の名調理師などはそれを示している。

唐・宋のころ、経済が栄えるにつれて都市では精進料理を売る店が出来た。なかでも南宋は盛んであった。

『夢梁錄』には南宋の都・臨安（今の杭州）の茶樓、

酒肆の精進料理はその数百種類の多きにのぼるがある。

そのうちに料理の名前を書き記したもののが五十余種、『奪真鶏』（鶏の丸焼に似せたもの）『假炙鴨』（あ

ひるの丸焼に似せたもの）『假魚膾』（刺身に似せたもの）など、字を見ただけで生臭物に名を借りた精進料理であることがわかる。

例えば『奪真鶏』。皮は柔らかで肉がしまり噛む程に鶏の味がする。精進物でありながら、その形、色、味ともに『奪真』、本物に勝るというわけである。

烤鴨（北京ダック）は現在北京の味として称えられ、北京を訪づれば先づ烤鴨と言われる程だが、八一九百年前、南宋の都には烤鴨があつたばかりでなく、それに似せた『假炙鴨』もあつたと言う事である。

私はここ迄書いて思ひ出しが、私の二十代のころ、だから五十年前に本格的な精進料理を一度だけ経験した事がある。材料は豆腐・おから・こんにゃくそれに各種の野菜である。今でも目に浮ぶのは本物そつくりの『鮎の塩焼』、実に見事、食べてがっかり材料は豆腐『鮎の照り焼』はおからで出来ており、『鯉のあらい』はこんにゃくであった。板前さんの腕に感心した。

又二回目の訪中の時、天台山国清寺の晩餐会で出た

食事は勿論精進料理であったが、材料は全部同じで『湯葉』、いためたり、蒸したりの二十数種類の変化に

富んだものであった。

南宋のころ、都市の精進料理店のみならず、田舎の方でもいろいろと研究されていた。『山家清供』『蔬食譜』などは、宋の人の書いた民間の精進料理のメニューである。その中には百越すメニューがあり、すでに飢えをしのぐという実用的な目的をこえ、調理の中の独特な芸術の一つとなつたと言つても過言でないと思う。元・明代になつてそれは更に形の美しさえと変化し、清代に入つて最盛期を迎えた。清代の精進料理は寺觀・民間・宮廷・市場（営業者）と四系統の精進料理が、それぞれの特色をもつて広く流布されていた。

宮廷では御膳房（調理場）に『素局』という『精進料理室』が設けられ、二百余種類の料理をつくる事が出来たと伝えられている。辛亥革命（一九一一年）が帝政を覆がえし、宮廷文化は都市、民間に流入し宮廷の精進料理も『解放』されたのである。

京都府宇治市に黄檗山万福寺がある。寛文五年（一六六五）明の僧『隱元』の開山である。この寺はすべて中国式、お經も中国語で唱なえ、建物も勿論中國様式、開山の『隱元』は一六五四年に明國より来日した。

『インゲン豆』というのは禪師が来日の時持参したものと伝えられる。この万福寺に中国風の精進料理を供するとの事で十年位経つと思つて参拝した事がある。

申し込んで行ったのだが、調理は山門の前の料理店に委託しているとのことでそちらに廻つた。看板は『普茶料理』と出していた。中國料理だからさぞや油っこい

かと思つたらとても淡白であったのを記憶している。

万福寺の山門に大きな句碑があつたのが印象に残る。

私はここ迄書いて思ひ出しが、私の二十代のころ、だから五十年前に本格的な精進料理を一度だけ経験した事がある。材料は豆腐・おから・こんにゃくそれに各種の野菜である。今でも目に浮ぶのは本物そつくりの『鮎の塩焼』、実に見事、食べてがっかり材料は豆腐『鮎の照り焼』はおからで出来ており、『鯉のあらい』はこんにゃくであった。板前さんの腕に感心した。

精進料理の発祥は寺院から起つたものでなく、寺院も始めは精進料理に無縁であった。仏教史によれば仏祖（釈迦）が仏門を開いたころには、僧侶はみな鉢をしていた。だから施主から精進ものをもらえばそ

山門をいづれば日本の茶摘歌

精進料理の発祥は寺院から起つたものでなく、寺院も始めは精進料理に無縁であった。仏教史によれば仏祖（釈迦）が仏門を開いたころには、僧侶はみな鉢をしていた。だから施主から精進ものをもらえばそ

れを、生臭物をもらえばそれを食したのだから区別がなかつたはずである。仏教が中国に入つた始めは僧侶は托鉢をして暮らしたことであるから、食物の区別はなかつたのである。

西晋以降、仏教は盛んになり寺院も増えた。この頃大寺院の多くは名山に建てられ、深山幽谷人煙の遠くはなれた処に建てられたので、僧侶が托鉢することが出来なくなり寺院の中に香積厨が設置された。しかし、

精進のものだけ食していただけではない。というのはこの頃はまだ『生臭物を食べてはいけない』と言う戒律が出来ていなかつたからである。『十誦律』の中では『およそ殺生を見たり、聞いたり、あるいは疑つたりしたことのない肉は淨肉だ。こうした三種類の肉は食してもよい』とあるからである。現在でも蒙古族・

僚族の僧侶、チベットの活仏は生臭物を断つていない。

漢族の僧侶は違う。物語の『西遊記』に描かれている唐の高僧『三藏法師』は、生臭物を食していない。

この戒律は南朝、梁の武帝の時代に決められたもので千四百余年を経ている。

梁の武帝蕭衍（四六四—五四九）は、晩年仏教を仰し、三度も皇帝の座をすてて建康（今の南京）の同泰寺に入った。が、そのつど朝廷は大金を以つて『請け戻し』をしている。その為当時の人は彼のことを『皇帝菩薩』と呼んだ。そして彼は一万三千の寺を創建したので『蕭寺』と言えば彼の建てた寺と言うことがわかつた。

仏教には『不殺生』という教義があるので、皇帝菩薩は絹の衣服を身につけなかつた。繭から糸を取る為には『さなぎ』を殺生するからと言う理由である。又『午後不食』の戒律も厳しく守つて一日一食、野菜と玄米のみを食べていただといわれている。皇帝自身だけがそうしただけでなく、大護法・大教主を自任して僧侶が生臭物を食したり、酒を飲んだりしてはならぬという詔勅を下した。『断酒肉文』というその詔勅は『涅槃經』などの經文によつたもので、『断禁肉腥』は仏家の守るべき善行であることを宣揚している。詔勅

を下したあと僧侶たちに、生臭物を食うべきか、精進物を食うべきかの討論をやらせ、最後に皇帝の権力をもって寺院に対して酒肉を断つよう強制した。こうして漢族の僧侶はその三種類の淨肉すらも食べなくなり次第に精進食になってきた。

寺院に『香積厨』ができたことによって、精進料理は好個（丁度よいこと）の発展の機を得ることになつた。梁の武帝の時代、建康の建業寺に精進料理の名人がいた。一種類の瓜で数十種の料理をつくることが出来たと伝えられている。そこで、酒肉を断つたときから寺院の精進料理は中国調理史の珍花として今日につづいている。

寺院の『精進料理』は、かなり長い発展期を経て明・清に至つて独特な料理体系を形成しています。それぞの寺院を代表する名物料理となっているものもある。その一例として次のよき逸話がある。

乾隆帝（清の四代目・一七一一一七九九）が江南に行幸して、常州の天寧寺の精進料理を賞味したとき『この寺の料理はことによあたりがよい、鹿の干し肉、熊の掌よりはるかに勝る』と言つてよろこんだと伝えられている。今風にいえば『大のグルメ』の皇帝からこのようにほめられたのだから、よほどの美味であったのだろうと思われる。

名刹（名高い寺のこと）をこう呼ぶ）の『精進料理』は、現在、中国の精進料理中の『秀逸』といつても過言でないであろう。その多くは作りが芸術的であり料理名も文学的である。

例えば厦门の南普陀院には、詩情画意に富んだスープがある。『半月沈江』といって、しいたけ、グルテン（植物性蛋白質、麸の原料）当帰（セリ科の多年草）で調理したもので、このスープの入れ物は丸くて大きく、底の半分は黒いしいたけが積み重なり、まるで山脈のように見え、あと半分を埋めているのは乳白色のグルテンで半月の形、澄んだスープの表面はあたかも澄んだ川面のようだ。詩人『郭沫若』は一九六二年南遊の際、ここをたづね、形・色とも美しいスープを

目にし次のような詩を詠んでいる。

我自舟山来

普陀又普院

天然林壑好

深感題名多

半月沈江底

千峰入眼窓

三杯通大道

五老意如何

組合員の異動

II組織・代表者・住所の変更 II
（新）

（旧）

一、株式会社馬電設（北支部）

一、株式会社馬電設（北支部）

一、株式会社小林電機（中渡島支部）

一、株式会社マルコ電機

一、株式会社有宮本電気商会（八雲支部）

一、株式会社宮本電気商会

一、株式会社燃岩越電機（八雲支部）

一、株式会社有岩越電機商会

一、株式会社有秋山電気工業所（中渡島支部）

一、株式会社有秋山電気工業所（中渡島支部）

一、株式会社龜田郡七飯町

一、株式会社龜田郡七飯町

一、株式会社字大中山八

一、株式会社字大川一六〇

一、株式会社函館市本通二丁目

一、株式会社函館市神山三丁目

一、株式会社函館市西桔梗町

一、株式会社函館市松川町

一、株式会社八二五一一二

一、株式会社一七一四

一、株式会社代表者平野洋一

一、株式会社代表者平野金之助

一、株式会社代表者樋原電気工業（赤川支部）

一、株式会社樋原電気工業（赤川支部）

一、株式会社電話一四九一九三〇〇

一、株式会社電話一四九一九三〇〇

一、株式会社函館市西桔梗町

一、株式会社函館市松川町

一、株式会社八二五一一二

一、株式会社一七一四

一、株式会社代表者平野洋一

一、株式会社代表者平野金之助

一、株式会社樋原電気工業（赤川支部）

一、株式会社樋原電気工業（赤川支部）

一、株式会社電話一四九一九三〇〇

一、株式会社電話一四九一九三〇〇

一、株式会社函館市西桔梗町

一、株式会社函館市松川町

一、株式会社八二五一一二

一、株式会社一七一四

一、株式会社代表者平野洋一

一、株式会社代表者平野金之助

一、株式会社樋原電気工業（赤川支部）

一、株式会社樋原電気工業（赤川支部）

一、株式会社電話一四九一九三〇〇

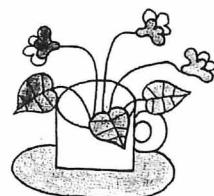
一、株式会社電話一四九一九三〇〇

一、株式会社函館市西桔梗町

一、株式会社函館市松川町

一、株式会社八二五一一二

一、株式会社一七一四



い な づ ま



大倉電気株式会社

大倉伸夫 殿

追悼記

さに電気工事関連業界のリーダーとして大いなる功績を残されたことは、いまさら私が申しあげるまでもありません。

あなたの輝かしい偉業に対して、平成四年十一月には北海道産業貢献賞を受賞、平成五年十月には資源エネルギー庁長官表彰さらに平成六年九月には中小企業庁長官表彰を受賞されました。その他諸々の表彰は数知れず、これらはあなたの名誉であるとともに、また私共組合関係者全ての名誉でもあります。

その組合会館も、そして當々と築かれたあなたの大倉電気株式会社も、あなたは昨日最後のお別れをされましたね。

本日ここに故大倉伸夫殿の告別式がしめやかに執り行なわれるにあたり、函館地方電気工事協同組合を代表して、理事長の御靈前に別離の言葉を申し上げます。

立春とは申せ春末だ遠い二月、私共電気工事業界の巨星墜つ、理事長の突然の訃報に接し、大いなる指針を失った悲しみで、組合員一同ただ呆然とするばかりで、いまだに信じられません。

生者必滅、会者定離が世の常とは申せ、往年の氣力充溢するご活躍を知るものにとりましては、必ずや早晩病魔を克服され、お元気なお姿を私共の前に見せてくださるものと信じて居りましたのに、最早二度と理事長のお顔を拝することが出来ない事実に無限の悲しみと世の無情を感じるばかりでござります。

あなたは、昭和四十五年十月若冠四十二才にして当組合の理事長に就任され、天性の才能と剛気不屈の精神、人間味豊かな性格そして非凡なる指導力をもって今まで実に二十五年間の長きにわたり、ひたすら当組合の発展と組合員企業の繁栄、福祉の向上に尽力されました。昭和四十五年には北海道電気工事業工業組合の理事に就任、昭和五十八年二月には同工業組合の副理事長に、さらには平成五年五月に全日本電気工業組合の理事に就任されました。そのほか関係団体の会長、役員の職は十指に余りあり、ま



であります。

平成元年六月には、私共の念願であった組合会館新築工事に着工、同年十二月に誇りあるすばらしい会館が竣工いたしました。これも偏に理事長の先見の明と優れた手腕と努力のお陰と感謝申し上げるところであります。その会館の理事長室に、お元気なあなたの姿を一度とあいみる事が出来ないことを考えますと、ひとしお悲しみを痛感するものであります。

お酒の席でのあのひょうひょうたる飲みっぷり、そして興が乗れば唄うあの『風雪流れ旅』そして『奥飛驒慕情』も一度と聞くことが出来なくなつて仕舞いました。楽しかった旅行の想い出も話し合うことが出来なくなりました。あなたの温顔と数々の想い出が走馬灯のようにめぐるばかりで、ただ天を仰いで涙するのみであります。

しかし、悲嘆にひたっているばかりであつてはなりません。私たちは、大倉理事長の残された金字塔どもいうべき功績を永く継続し、我々の努力をもつて次なる希望へ飛躍するつもりであります。どうか我々を見守つていて下さい。

御遺族、会社の皆様方の胸中は、まさに悲嘆と断腸の極みかと存じます。とは申せ御令室、御子息の皆様方はそれがあなたの御遺志をつぐべくご決意のことと存じます。大倉電気株式会社もあなたの築かれた礎のうえに今後ますますご発展を続けられるであろうことを確信いたしております。

寂寥の想いひとしおですが、靈魂の永遠に安からんことをお祈りいたしまして惜別の辞といたします。

大倉理事長永い間本当に御苦勞様でございました。そしてありがとうございました。どうかやすらかにお眠り下さい。

合掌

次代の変化にこたえる感性
総合販社

東芝E&S北海道株式会社

函館支店

函館市大繩町二十二番十四号
電話 040-2122-2414



快適を科学します

松下電工株式会社

函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話 041-491-1525

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四三九
電話 041-491-1313

電気設備機器資材の総合卸商社

TA/KO

大興電機株式会社

本社
セントラル
本通商
電話
041-31
電山電函電話
越話館市西桔梗町五八九一四三九
郡市本(代桔梗町五八九一四三九
○八三雲六六町五一四二一
三内一丁九五
浦一目一八九
三町六二六九
一一四二一
六〇四一一〇
九七九七一七

電設資材・機電総合卸

進和電機株式会社

函館市松川町三四一
電話 040-2162-3113

未来環境を語る・造る

株式会社

函館市富岡町二丁目四
電話 041-431-3011
本社
札幌・営業所
釧路、苫小牧
(代表)

電気工事器材
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社

函館支社
函館営業所
040-063-060

函館市西桔梗町五八九一四三九
○市一市一中央
三中四新一区
八島野二北
五町三町二条
五町四一西
十六丁目二
四自九三
二二三番二自
二二五番一
番(代号)代地

日松立電工(株)
代理店

北進商事株式会社

函館市市場町十九
五五五
三二七
四〇一
一五号
電話 040-2122-15号